

神奈川県議会議員

石川ひろのり

県議会レポート 2016.1 Vol.3



石川ひろのり事務所

〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911
<http://www.hiro-ishikawa.jp/>

徹底的に
現場主義

横浜市営地下鉄3号線延伸の要望を提出

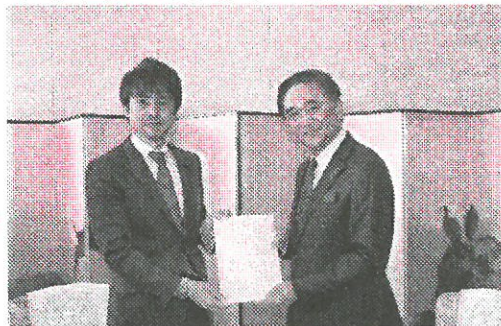
神奈川県庁で「平成28年度予算・施策に関する要望書」を県議会第2会派 民主党かながわクラブとして黒岩県知事に提出しました。県内各市町村、諸団体からヒアリングをし、会派として議論を行いまとめあげたものです。その中で、麻生区の皆様から地域要望としていただいております「横浜市営地下鉄3号線のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅までの延伸工事を早期に進めること」「新興住宅地であるはるひ野地域に、はるひ野駅前交番を設置すること」について要望しました。地下鉄延伸については、新百合ヶ丘駅周辺の活性化はもちろんのこと、延伸により駅南口、北口の再構築をすることによって、週末の同駅周辺の渋滞緩和対策なども合わせて進めていくことが重要です。引き続き、延伸について県に対して要望してまいります。



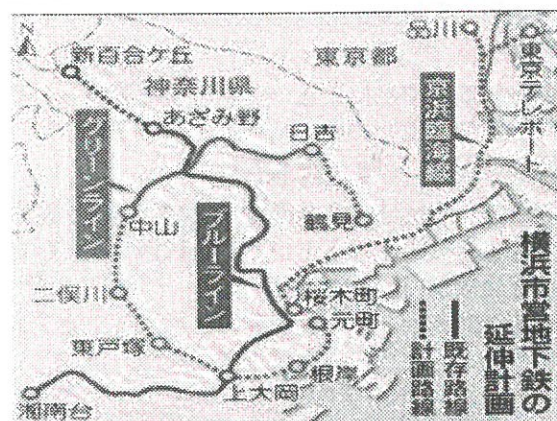
はるひ野駅前交番の早期設置について

麻生区はるひ野地域のはるひ野5丁目の開発工事が現在進められ、工事が完了すると町内会人口は約8千名となります。事件・事故の際、近接する稲城市の若葉台駅前交番が管轄外のため、栗平駅前交番または麻生警察署からの出動となり、いざという時に到着まで時間がかかってしまいます。このようなことから、地域から多く意見が寄せられた「はるひ野

駅前の交番設置」を要望しました。麻生区の安心・安全な街づくりのため、また、ご要望の多い地下鉄延伸の問題について、県行政に対して今後もしっかりと皆様の声を届けて参ります。ぜひご意見・ご要望をお待ちしております。



黒岩県知事へ要望書を提出



石川ひろのり活動報告

活動・委員会質問など

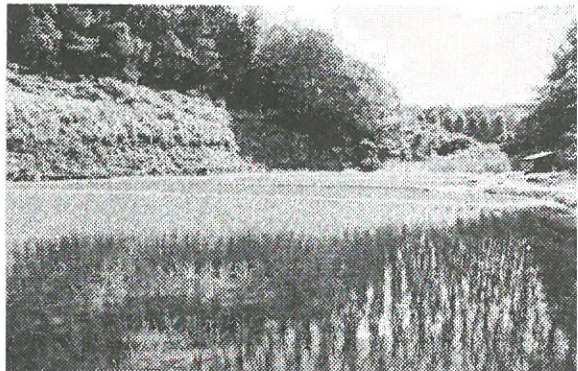
詳しくはホームページ、または

Facebookにてご覧になれます。



里地里山の保全等について

私たちが住む麻生区は市内最高の緑被率で、多くの農地や山林が残されています。里地里山には、良好な景観が形成され、様々な生き物が生息していたり、災害を防いだり、伝統的な生活文化が伝承され、環境学習や自然体験の場になるなど、単なる農林業の生産の場だけでない多面的な機能を持つ里地里山を守ることは非常に大切なことだと思います。県では里地里山の認定協定活動団体に対して補助金を出していますが、平成26年度から受給5年を経過した団体への補助を



8割に減らし、支援団体が補助金に頼らずに運営していく方向へお願いをしています。しかしながら現場の声を伺うと、以前のように伐採した木を燃やして肥料にすることができず、逆に産業廃棄物として処理をしなければならないなど、まだまだ団体にとって費用面の負担は大きいようです。今後、しっかりと活動している団体に対しては、県が予算面でも支援をしていくよう要望し、県からは「要望に応えられるよう精一杯頑張っ参りたい」との回答を得ました。今後も引き続き、この豊かな自然環境を守るため県に対して要望してまいります。

「県立高校改革」の進捗状況について

県教育委員会では、平成28年度から12年計画で県立高校142校から20~30校の統合・再編を計画しています。「横浜北東・川崎」「横浜南西」「横須賀三浦・湘南」「中・県西」「県央・相模原」の5つの地域を基本に再編し12月中に第1回目の統合・再編がなされる具体的高校名が報告をされます。この間、文教委員会の中で「生徒のための高校改革」であるべきであると主張して参りました。

石川

新聞報道等で現在の県立高校142校から20~30校の統合再編という見出しが出て、これだけを見た方は乱暴な進め方ではないかとの意見を伺いました。県域を5つに分け統廃合を進めるとのことだが、地域によって偏りがあると思うがどのような見込みを立て進めていくのか。

県立高校改革担当課長

最も多い県央相模原の33校、最も少ない中県西地域で21校となっている。12校の幅がある中で、隣接する旧学区との組み合わせ、生徒の通学状況の中で区分をしている。再編統合もこれを勘案して検討していく。

石川

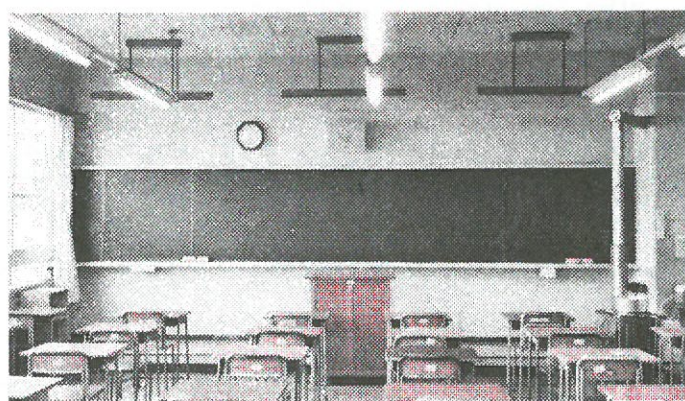
この統廃合で生徒にとって希望する高校への進学や通学等の不安がでるのではないかと。

県立高校改革担当課長

通学の利便性は通学時間約1時間以内との結果出ている。その中ではさらに遠くなるということは想定していない。5つの地域の中で通学ができると考える。再編統合に当たり、全日制の進学率向上と生徒の定員数の確保ということ、通学の利便性を考え考慮、検討していく。

私たちの政務調査活動はみなさまの支援の輪に支えられています。
石川ひろのり事務所ではボランティアスタッフを募集しております

広告用チラシ折り、ポスティング、ポスター掲示、街頭活動の支援など短時間でもかまいません。皆様のできる範囲でお手伝いください。皆様のご支援とご協力をお待ちしております。



石川

何のための高校改革なのか。生徒を中心にこの改革を進めていただきたい。前回の高校改革の際、定時制高校に通う生徒が増えたとのデータもあります。もちろん生徒の努力は必要であるが、全日制を希望する生徒が県立、私立高校を含め、地域バランスを考え、その受け皿をきちんとつくって頂きたい。

石川ひろのりへのご意見・ご質問を

お待ちしております。

お名前

ご住所

TEL

ご意見など

044-455-6614までFAXにてご送信ください。

プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後参議院議員公設秘書を経て、政策秘書の資格を取得し参議院議員公設秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県会議員選挙初当選。麻生区を在住。

県政
刷新